

平成29年度進行管理・評価シート
津山市歴史的風致維持向上計画（平成21年7月22日認定）
（最終変更平成29年3月31日）

■ 進捗評価シート(様式1)

組織体制(様式1-1)	
1 計画実施のための組織体制による検討	1
2 津山市歴史的風致維持向上計画協議会の開催	2
重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 景観計画の策定・屋外広告物の規制	3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 史跡津山城跡保存整備事業	4
2 苅田家住宅及び酒造場修理事業	5
3 京橋門跡地整備事業	6
4 旧妹尾銀行林田支店修理活用事業	7
5 津山だんじりの保存・継承事業	8
6 出雲街道(城東地区) 無電柱化事業	9
文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の調査・指定	10
2 文化財の保存修理・防災・周辺環境	11
3 文化財の施設・普及啓発	12
効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 「貴重な車両”顔”出し」H29.4.6山陽新聞 等	13
その他(効果等)(様式1-6)	
1 まちづくりに関する取り組み	14
■ 法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	16

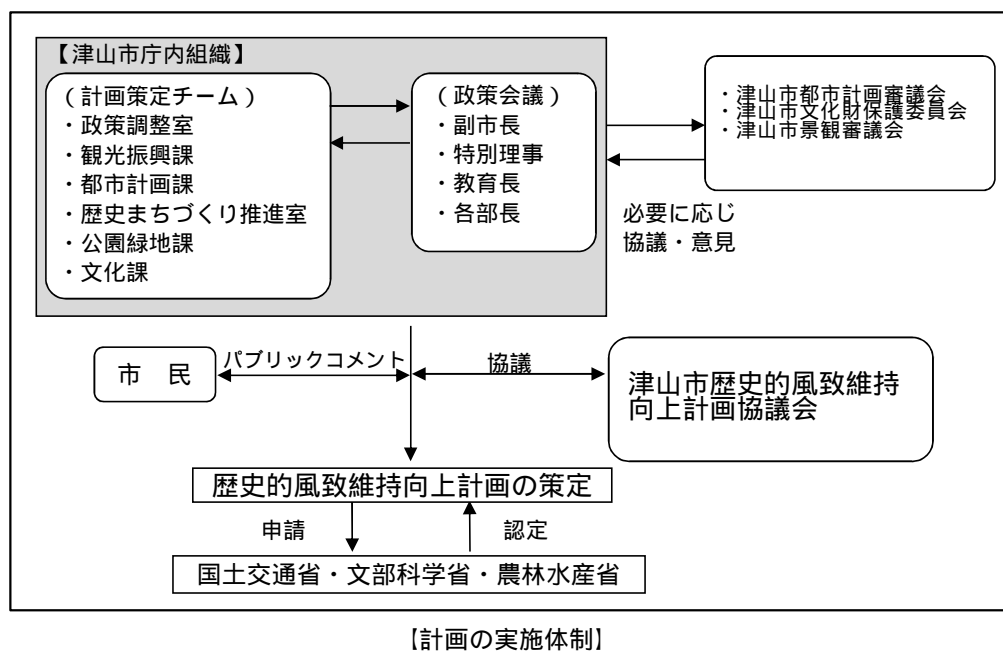
評価軸 -1

組織体制

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
計画実施のための組織体制による検討		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	計画策定体制として、各事業担当部局及び調査部門が連携する庁内の横断的な組織(計画策定チーム)を形成。計画の実施・推進については、計画策定チームが中心となり、計画の追加、修正等の際には、協議会の意見を求めながら実施。		
定性的・定量的評価(自由記述)		定量的評価は可能な範囲で	
本計画の上位計画である市の第5次総合計画実施にあたり、関係部局との協議を随時実施した。また、前年度から継続して実施している個別事業については、事業担当課と随時協議を実施し事業の推進にあたった。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		多くの意見を踏まえたうえで調整を行うことが必要なため、事業に対する外部意見等の情報収集に努める。	
状況を示す写真や資料等			

○平成29年度実施状況

定例の事業調整会議のほか、個別事業について関係部署と随時協議し計画の推進にあたった。



評価軸 -2

組織体制

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
津山市歴史的風致維持向上計画協議会の開催		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	庁内組織での検討内容結果等は、学識経験者、有識者、岡山市、岡山市教育委員会、市及び市教育委員会と構成される協議会に諮り協議。	
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で		
計画の実施状況等に関する意見を求めるため、津山市歴史的風致維持向上計画協議会を開催した。今年度は協議会を1回開催。		
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		多くの意見を踏まえたうえでの計画の管理・調整を行うことが必要なため、事業に対する外部意見の収集に努め、収集方法等の検討を行っていく。
状況を示す写真や資料等		
○平成29年度実施状況 ・津山市歴史的風致維持向上計画協議会 【日 時】 平成30年2月27日(火) 13:30～ 【場 所】 津山市役所 E101会議室 【出席者】 山陽学園大学教授、城東地区代表、城西地区代表、岡山市土木部都市局都市計画課長、津山市都市建設部企画調整官、津山市教育委員会生涯学習部文化課長、津山市都市建設部都市計画課長、津山市都市建設部公園緑地課長、事務局(歴史まちづくり推進室) 【協議事項】 ・津山市歴史的風致維持向上計画事業の進行管理・評価について		
		
【会議の様子】		

評価軸 -1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	平成29年度
			現在の状況
景観計画の策定 屋外広告物の規制			☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	景観計画の策定にあたっては、市全域を景観法に基づく景観計画区域とするとともに、特に良好な景観を形成する必要がある区域を景観計画重点区域とする。また、歴史的風致維持向上計画の重点区域を景観計画重点区域とする。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
津山市景観計画を施行し、計画に基づく指導を開始した。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○景観計画策定事業 【実施状況】 平成29年4月1日 津山市景観計画 施行 平成29年度 届出件数 全47件 (うち景観形成重点地区10件) ○屋外広告物の規制 岡山県屋外広告物条例の許可対象以外の屋外広告物については、津山市景観計画における基準で指導を実施中。			

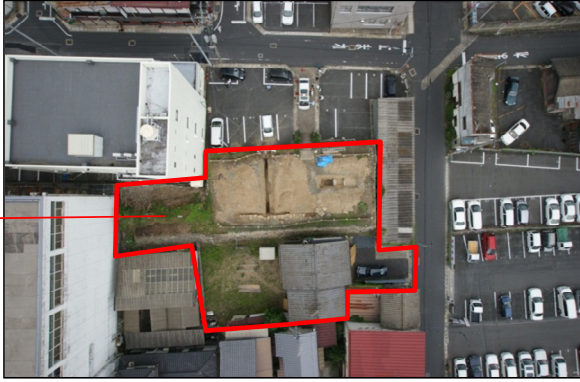
評価軸 -1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
史跡津山城跡保存整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成10～29年度		
支援事業名	歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業		
計画に記載している内容	津山城跡(鶴山公園)は、「津山城跡周辺地区」の核となる建造物であるため、一層の保存と活用を進めるために「史跡津山城跡保存整備計画」を策定して事業を実施。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
史跡津山城跡保存整備事業により、平成29年度は裏下門周辺の発掘調査と腰巻櫓石垣の説明板の設置を行った。この整備により、歴史遺産の保存、観光・地域の交流拠点としての活用をさらに拡大させていくための基盤整備を推進することができた。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○ 史跡津山城跡保存整備事業 【平成29年度実施状況】 裏下門周辺の発掘調査 腰巻櫓石垣の説明板設置 【平成29年度実施内容】 津山城の搦手側通路は、雨水が地表を流れて遺構を削ってしまったり、石段の石に抜けや、ずれが生じるなど、安全な通行が難しくなっていたことから、平成26年度から整備工事をおこなっている。 平成29年度は、今後の整備工事に先立ち、江戸期の地表面や排水経路を調べるために、裏下門周辺の発掘調査を実施した。 また整備として、昨年度に整備した腰巻櫓石垣の遺構表示部分に説明板を設置した。			
			
【発掘調査の様子】		【説明板設置後】	

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
苅田家住宅及び酒造場修理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成25年～30年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	城東地区の出雲街道沿いにある苅田家住宅及び酒造場は、「城東重要伝統的建造物群保存地区」の核となる建造物であるため、解体修理等を実施。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
「旧苅田家住宅(10棟)」が平成28年7月25日付で国の重要文化財に指定された。 津山市旧苅田家住宅保存修理活用検討委員会を立上げ、今後の修理に向けた検討に着手した。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		今後の具体的な修理実施スケジュールについて検討に着手。	
状況を示す写真や資料等			
○ 苅田家住宅及び酒造場修理事業 【平成29年度実施状況】 ・旧苅田家住宅保存修理活用検討委員会 【日 時】 平成30年3月16日(金) 13:30～16:00 【場 所】 津山市役所東庁舎 E301会議室ほか 【出席者】 林良彦ほか4名、県文化財課、文化課、歴史まちづくり推進室			

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
京橋門跡地整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成26年～29年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	京橋門跡地は、津山まつりにおける津山だんじりの巡行コースであり、津山城の外周遺構を確認できる唯一の場所でもあるため、隣接地を取得し、石垣を覆い隠す建物を撤去して整備を実施。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
周辺の道路から見えるように整備するため、隣接地2件と交渉をおこなっていたが、このうち南側1件について取得できたので、整備工事を実施した。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		土地取得に時間を要したため、事業期間を延長して取り組んだ。また、当初案から規模を縮小して整備を行った。	
状況を示す写真や資料等			
○京橋門跡地整備事業整備事業 【平成29年度実施状況】 地権者と交渉を行い、取得した南側の土地と既存の石垣部分で、公園整備工事を行った。			
京橋門跡公園整備範囲 			
【京橋門跡石垣周辺の様子(上空から)】			
 			
【公園整備状況】			

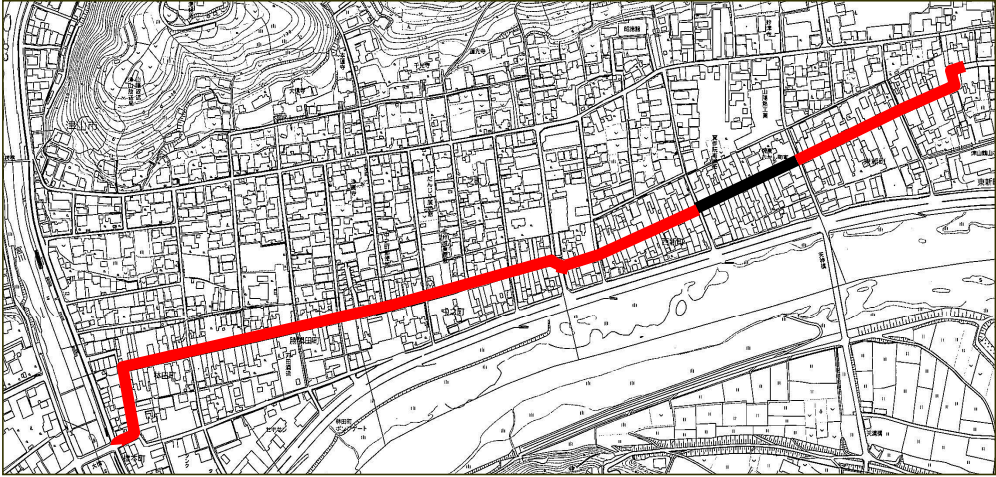
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
旧妹尾銀行林田支店修理活用事業		☒ 実施済 ☐ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成24年～29年度	
支援事業名	地方創生推進交付金	
計画に記載している内容	旧妹尾銀行林田支店は出雲街道沿いにある城東地区の核となる建造物であるため、老朽化した屋根の修理等を実施。	
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で		
「アート&デザイン賑わい拠点整備事業」として設計と改修工事を実施。		
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
○旧妹尾銀行林田支店修理活用事業 【平成29年度実施内容】 旧妹尾銀行林田支店を文化財を活用した「アート&デザイン賑わい拠点整備事業」として計画し、平成29年度に設計と改修工事をを実施。平成30年秋のオープンを予定。 「アート&デザイン賑わい拠点整備事業」 市民やアーティスト・デザイナーなどの交流や楽しみが生まれる施設、滞在型観光の中核エリアとなる城東地区の東部のランドマーク施設として、観光誘客も視野に入れた施設とする。		
		
【改修前】		【改修後】

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
津山だんじりの保存・継承事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成21～30年度		
支援事業名	文化遺産を活かした地域活性化事業		
計画に記載している内容	津山固有の歴史や伝統を反映した津山だんじりの修理を実施。津山だんじりの修理により、当時の製作技術・技法等を知る事ができるとともに、次世代への技術の伝承につながることが期待される。 また、津山まつりのメインになる出し物であるため、修理されただんじりの出動により、津山まつりがより活性化されることが期待される。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
津山だんじりの保存・継承事業による、だんじり修理は実施していない。(所有する町内からの実施要望なし)			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		修理業者の技術力に対する不信感や町内会の費用負担面などで課題がある。伝統文化及び伝統工芸技術の継承、育成支援のため地元からの要望を上げてもらい支援方法の検討を行う。	

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
出雲街道(城東地区) 無電柱化事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成26年度～		
支援事業名			
計画に記載している内容	津山だんじりや伝統産業の舞台である出雲街道について、新洋学資料館関連地区以外の無電柱化を行い歴史上価値の高い町並保存地区の建造物と一体となった質の高い良好な市街地環境の整備を図り、歴史的風致を向上する。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
電柱撤去に関する技術的な検討を行った。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		現時点では電線地中化の実施は難しい状況である。引き続き配線技術や法整備の情報収集にあたり、状況に応じて計画内容の見直しを行う。	
状況を示す写真や資料等			
○ 出雲街道(城東地区) 無電柱化事業 【平成29年度実施状況】 新しい配線技術や法整備に関する情報収集にあたり、事業実施に向けて技術的な検討を行った。今後の技術面及び法整備の状況に応じて計画地で実施可能な具体的手法を検討すると共に、必要に応じて計画内容の見直しを行う予定。			
 【無電柱化実施検討エリア図】 ☒ 実施済 ☒ 無電柱化検討エリア			

評価軸 -1

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		平成29年度
項目		現在の状況
文化財の調査・指定		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	未指定文化財の調査を継続し、保存が必要と判断されるものについては新たに指定を行って保存・活用に努める。	
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で		
○文化財の調査: 地元6団体によるワーキンググループによる未指定文化財の調査を実施。 ○文化財の指定: 市指定文化財 H30.2月時点ではなし		
進捗状況 計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
○文化財の調査 地元6団体によるワーキンググループを立ち上げ、未指定文化財の調査を実施。 ○文化財の指定 【平成29年度市指定文化財】 H30.2月時点ではなし		

評価対象年度		平成29年度
項目	現在の状況	
文化財の保存修理・防災・周辺環境	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	文化財の修理は、損傷が進まない内に実施するように努め、適正な管理や見回り・啓発などの予防活動により防災に努める。	
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で		
○文化財の保存修理: 城東重要伝統的建造物群保存地区修理、国指定史跡津山城跡保存整備事業(P4参照)、県指定重要文化財高野神社本殿保存修理事業 ○文化財の防災対策: 国指定重要文化財中山神社本殿防災施設修理事業、文化財防火デー		
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		文化財の保存修理については、復元方針、材料の確保、職人の確保が課題となっているため、これらの課題に関する対応について、継続して検討を行っていく。
状況を示す写真や資料等		
○文化財の保存修理  【修理前 高野神社】  【修理中 高野神社】 【県指定重要文化財高野神社本殿保存修理事業】 高野神社本殿屋根の銅板が老朽化し、雨漏りが見られるため、屋根の修理をおこない、新しく銅板をふくもの。29・30年度の2ヶ年事業。 【城東伝統的建造物群保存地区修理状況】 平成29年度修理6件、修景1件を実施。 ○文化財の防災対策 【文化財防火デー】 ・重要文化財防火訓練 日 時: 平成30年1月28日(日)午前8時15分～ 場 所: 津山市田町「旧中島病院本館」 想 定: 旧中島病院本館で火災が発生の想定 実施内容: 津山市消防団による防火訓練 ・文化財の立入検査 実施内容: 消防組合による文化財の消防設備の査察と指導。 日 時: 平成30年1月25日(木)、26日(金) 場 所: 地藏院、作州民芸館(旧土居銀行本店)、 旧荻田家住宅、千代稻荷神社  【文化財の立入検査の様子 (千代稻荷神社)】		

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	平成29年度 現在の状況
文化財の施設・普及啓発			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財の保存、活用に関する普及啓発を推進するため、説明会・報告会等を開催。また、市内の伝統文化や工芸技術等の活動に重点を置いたデータベース化に取り組み、市民に知ってもらう機会を増やし、結果的に文化や技術の継承・育成につながるよう努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で			
○文化財の普及啓発：美作考古学談話会、第36回文化財調査報告会、城西歴史講座			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○文化財の普及啓発 ・美作考古学談話会 主 催：弥生の里文化財センター 第1回 平成29年6月4日(日)「津山城跡発掘調査現地見学会」 第2回 平成29年10月28日(土)「史跡津山城跡の発掘調査現地見学会」 第3回 平成30年1月20日(土)「空と地上からみた津山城の痕跡」 第4回 平成30年3月31日(土)「考古学ニュース2017」 ・埋蔵文化財発掘調査現地説明会 主 催：津山市教育委員会 第1回 平成29年6月4日(日)津山城跡(新津山国際ホテル建設予定地)発掘調査現地説明会 第2回 平成29年9月10日(日)津山城跡(新津山国際ホテル建設予定地)発掘調査現地説明会(第2回) 第3回 平成29年10月28日(土)史跡津山城跡 二の丸発掘調査現地説明会 ・第36回文化財調査報告会 主 催：津山市育委員会 日 時：平成30年3月17日(土) 13:30～16:30 場 所：グリーンヒルズ津山リージョンセンター 参加人数：約80名 概 要：報告「津山市歴史文化基本構想作成の取組について」津山市教育委員会 講演「地域の歴史文化とまちづくりについて」文化庁 文化財調査官 岡本公秀 講演「美作地方の歴史文化と民俗」岡山学院大学・岡山短期大学教授 尾崎 聡 トークセッション「歴史文化基本構想を活かしたまちづくり」			
			
【発掘調査現地説明会の様子】		【文化財調査報告会の様子】	

評価軸 -1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	平成29年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
貴重な車両“顔”出し	H29.4.6	山陽新聞	
つやま城東まち歩き開幕 家族連れら店巡り	H29.4.9	山陽新聞	
旧苅田家住宅隣接の町家2棟 宿泊施設に活用	H29.5.30	山陽新聞	
溝や石垣…遺構を確認	H29.5.30	津山朝日新聞	
津山城石垣の刻印調査 高校生19人 意味や理由考察も	H29.6.21	山陽新聞	
排水経路を明らかに 津山城二の丸～三の丸	H29.6.30	津山朝日新聞	
古い町家改装し工房構える 木工家・須藤さん、城東重伝建地区に	H29.7.5	津山朝日新聞	
津山の夏は熱いぞ 踊り、花火「納涼ごんごまつり」に11万4000人	H29.8.8	山陽新聞	
未明の国道 SL大移動	H29.8.10	山陽新聞	
だんじり、みこし勇壮 津山まつり 大隅神社で開幕	H29.10.17	山陽新聞	
時代行列 にぎわい再現 重伝建の津山・城東地区	H29.11.6	山陽新聞	

定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で

津山市の歴史・文化遺産の保全や活用、良好な景観の創出に関する方針等を周知した結果、津山市の歴史的風致に関する関心を高めることが出来た。
また、さまざまな啓発活動等により、地域のまちづくり活動の活性化につながった。

進捗状況 計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- ☐ 計画の進捗に影響あり
☒ 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

項目		評価対象年度	平成29年度
まちづくりに関する取り組み・効果			
計画に記載している内容	城西地区では、歴史的な町並みや人々のくらしを一つの博物館ととらえる「城西まるごと博物館構想」を進めており、毎年、「津山・城西まるごと博物館フェア」を開催。 城東地区では、町並みや伝統的な産業・文化を守り伝えようと13町内会が「出雲街道津山城東むかし町」を開催。		
定性的・定量的評価(自由記述) 定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
歴史的景観が多く残されている城西地区、城東地区を中心に、歴史遺産の掘り起こしや再発見に取り組む活動が行われた。			
進捗状況	計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし		地域のまちづくり活動の支援を効果的に行うべく、協議会等との連携強化や情報共有の推進に努める。	
状況を示す写真や資料等			
(城西地区) 地元住民を中心とした各種イベントを実施し、城西地区の歴史的魅力的な再発掘に努めている。 また、旧中島病院本館をまちづくり拠点として活用し、まちづくり活動の推進に努めている。 ○津山・城西まるごと博物館フェア 【事業内容】古い町並みが残る城西地区を博物館に見立て、手仕事で賑わった大正時代の町並みや暮らしを紹介するイベントを実施。このイベントにより、地域の再発見や交流を図る。平成29年度は22回目の開催で、約2万人の来場者で賑わった。 【実施主体】津山・城西まるごと博物館フェア実行委員会 ○野菜と魚の市 【事業内容】登録有形文化財である作州民芸館を活用し、月に一度、野菜と魚の市をオープン。地域の文化財の活用を推進するとともに、地元住民の交流を図る。 【実施主体】つやま城西ほりおこし隊 ○作州絣織り人養成講座 【事業内容】岡山県郷土伝統的工芸品「作州絣」の復興を目的に織り人養成講座を開講。 【実施主体】作州絣保存会 ○旧中島病院本館(城西浪漫館)指定管理業務(平成21年度～) 【事業内容】歴史的洋風建造物をまちづくり拠点施設として活用し、喫茶、展示ギャラリーなどの事業によって歴史的遺産を有効に活用したまちづくり活動を推進する 【利用状況】平成28年度 来館者数 12,633人 喫茶利用者数 4,664人 平成29年度 来館者数 13,873人 喫茶利用者数 4,589人 ○城西歴史講座 【事業内容】市民を対象に、城西地域の歴史について解説する歴史講座(全5回)を開催。 【実施主体】津山市城西公民館 (城東地区) 地域住民が中心になってまちづくりイベントを行い、出雲街道を中心とする歴史遺産の発掘、魅力の創出に努めている。 ○出雲街道津山城東むかし町 【事業内容】城東地区の出雲街道1.2kmを歩行者天国とし、昔の町人文化を表現するため、住民による江戸期風衣装や昔風イベントを実施。このイベントにより、町のすばらしさ、町並みのすばらしさを再認識し、活力ある町の創出を図る。平成29年度は28回目の開催で、約2万5千人の来場者で賑わった。 【実施主体】津山城東むかし町実行委員会			

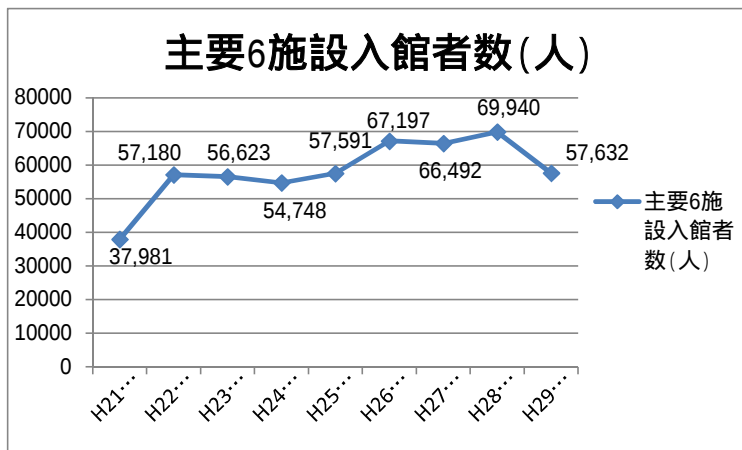
(まちづくりの効果)

○ 主要6施設入館者数の推移

平成21年7月に津山市歴史的風致維持向上計画の認定を受け、城東地区及び城西地区の道路空間高質化事業や地図情報板設置事業をはじめとした各種事業を行い、翌年度には施設入館者数が大幅に増加した。平成23年度、平成24年度は微減したが、平成25年度からは再び増加傾向にある。平成25年8月に城東地区が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、全国的に知名度が向上したことも要因の一つである。

平成29年度の状況について追記

6施設・・・城東地区：作州城東屋敷、箕作阮甫旧宅、城東むかし町家、津山洋学資料館
城西地区：作州民芸館、城西浪漫館



○ 伝統的建造物の修理・修景実施件数

城東伝統的建造物群保存地区は平成25年8月に国の重要伝統的建造物群保存地区へ選定され、平成26年度より重要伝統的建造物群の制度に基づいて修理及び修景事業を実施している。

年度	H26	H27	H28	H29	延べ件数
修理	4件	7件	7件	6件	24件
修計	1件	1件	1件	1件	4件

【伝統的建造物群保存地区内における修理・修景の実施件数】

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	平成29年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称:津山市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時:平成30年2月27日	
(コメントの概要) ・だんじり修理保存について 平成29年度に修理実績がないことに関して、地元町内会が行政の補助を利用した場合の修理業者の技術力に不信感を思っている。 保存会から地元の声をあげて頂くべきだと考える。市教委、あるいは県へと改善要望を上げて、よりよい修理が実施できるようになるのではないか。 ・未指定文化財について 体系的に整理した上での全市的な文化財の洗い出しが必要。今後の歴史文化基本構想の策定でそこに踏み込むべき。	
(今後の対応方針) ・地元の6団体でワーキンググループを立ち上げ、調査を実施する。	